

犯罪の予防のための取り組み セーフコミュニティちちぶ

秩父市の犯罪件数は、近年減少傾向ですが、中心市街地（上町・中町・本町・宮側町・番場町・東町）の人口千人あたりの犯罪発生率は、全国・埼玉県に比べて高い状況にあります。

セーフコミュニティ犯罪の防止対策委員会では、犯罪件数を減少させるために、次の取り組みを行っています。

一つ目は、**防犯パトロールの周知・推進**です。防犯パトロールは非常に多くの団体で実施していますが、より幅広く展開するために、毎年、町会ならびに隣組長の皆さんへ見守り・パトロール活動へのご協力をお願いしています。

今年度は、市報や回覧板などを入れられるセーフコミュニティのロゴ入りトートバッグ（写真①）を配布し、隣組長が配布物を回す際や散歩の時間などに使用することで、見守り活動を幅広く展開しています。

二つ目は、**防犯カメラ・防犯灯の設置**です。商店街への防犯カメラの設置とあわせて、一般宅への防犯カメラの設置を呼び掛けています。

最近では、格安（1万円台）の防犯カメラも発売され、自宅の防犯対策として、設置する方も増えています。また、事件があった場合に警察へ防犯カメラで撮影した映像を提供し、早期の事件解決へ結びつく事案も増えています。さらに、車載型カメラを活用した同様の取り組みも進めています。

市民の皆さん一人一人の力が犯罪件数を抑止する手立てであり、地域の目が重要です。防犯カメラによる安全なまちづくりの構築にご協力をお願いします。



ロゴ入りトートバッグ

三つ目は、侵入盗被害の約半分が無施錠で被害に遭っていたことから、**鍵かけ運動**を推進しています。

現在、侵入盗被害件数は減少傾向ですが、年間約20件発生しています。また、自転車盗が増えているので、**自転車の鍵かけ**もあわせて呼び掛けています。



四つ目は、**犯罪の芽を摘む運動**です。犯罪を目撃した際には、見て見ぬふりをせず、警察や関係機関に通報するよう、啓発チラシを作成し、呼び掛けています。警察への通報は敷居を高く感じる人もいますので、地域に密着している交番の連絡先も掲載しています。



啓発チラシ

五つ目は、**振り込め詐欺撲滅キャンペーン**です。警察や県と連携し街頭キャンペーンや、啓発チラシの配布で、特殊詐欺の被害抑制を図っています。また、不審な電話が多くなってきた際は、警察と連携をとり、

防災行政無線や安心・安全メールによる注意喚起を行っています。なお、最近の傾向として、銀行の職員をかたり、キャッシュカードを搾取する特殊詐欺が多くなっています。「あなたのキャッシュカードが詐欺グループに狙われている」など、巧みな話術で、カードを持ち去りますので、ご注意ください。



街頭キャンペーン（ユニクス）

最近3年間の市内犯罪発生状況ですが、**自転車盗**に続き、**万引き**も多くなっています。年代的に高齢者の万引きが多くなっており、こちらの対策についても研究しています。

市民の皆さんのご協力をいただきながら、今後も「安全・安心なまち」を目指してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

問 危機管理課 ☎22-22206